



エネジー・ストレージ・サミット・ジャパン 2015 /  
VDE ファイナンシャル・ダイアログ  
ポストショーレポート

エナジー・ストレージ・サミット・ジャパン 2015 :

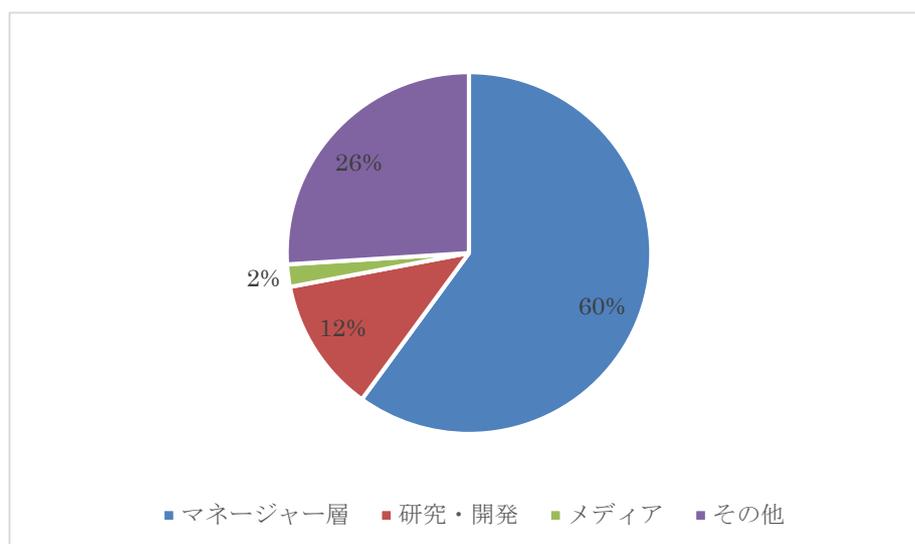
他に類を見ないエネルギー貯蔵事業、政治・経済を超えた対話を実現

エネルギー貯蔵は、特に島国日本にとって、再生可能エネルギーの普及において重要な要素である。2016年、日本においては、エネルギー市場自由化が予定されているため、エネルギー産業は劇的な変化を受けることになるであろう。その変化に呼応して、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは、2015年11月11日及び12日に第二目の「エナジー・ストレージ・サミット・ジャパン」を開催した。

第1日はコンラート・アデナウアー財団のエネルギー・気候プロジェクトと、そして第2日目はVDE ファイナンシャル・ダイアログ・ジャパン (VDEFDJ) との提携においてメッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは、国内の重要な議論を促進し、エネルギー蓄積動向についての情報を広めることを助けた。

日本、米国、ドイツ、韓国、台湾及び中国をはじめ、世界14か国・270を超える関係者が会議・展示会に参加し、盛況裡のうちに終了した。聴衆は主に会社の管理職クラスから構成されていた。

グラフ : 2015 ESSJ/ VFDJ の聴衆の構成



出典 : 参加者データ

2 日間にわたって、エネルギー貯蔵業界についての見解、何が最も良いプラクティスか、新規ビジネスモデル、スマートシティへの応用、最新のストレージ技術の動向について、活発な議論と意見交換がなされた。

特筆すべきは、政治経済界からカリフォルニア公益事業委員会、C. J. ピータマン 氏及びドイツ・エネルギー貯蔵協会専務理事、U. ウィンデレン 氏のような国際色豊かな一流のパネリストを迎え、行われたオープニングセッションである。ビジネスモデルにおいてのセッションでは Yunicous と Vattenfall のトップ代表者の献身的な貢献により大勢の参加を得ることが出来た。第 1 日目の最後のパネルディスカッションにおいては、政界からは、政策立案者である、衆議院議員 柴山 昌彦 氏、並びにカリフォルニア公益事業委員会、C. J. ピータマン 氏、そして産業界からは、NEC、スマートエネルギービジネスユニット主席主幹 花房 寛 氏、並びに東京電力株式会社常務執行役員 岡本 浩 氏が参加した。

以下のようにピータマン委員長は当イベントについてコメント：

『エネルギー・ストレージ・サミット・ジャパン (ESSJ)』は、必要に応じて、国際的なエネルギー貯蔵市場の展望と、エネルギー貯蔵市場がどのように今後数年間で再生可能エネルギーと開発をサポートすることが出来るかという情報を供給しています。

カリフォルニア州の規制者として、私は ESSJ が提供する国際的な対話の機会に感謝しています。ESSJ は、エネルギー貯蔵のメリットを最大化するために必要な国際協力を促進しています。

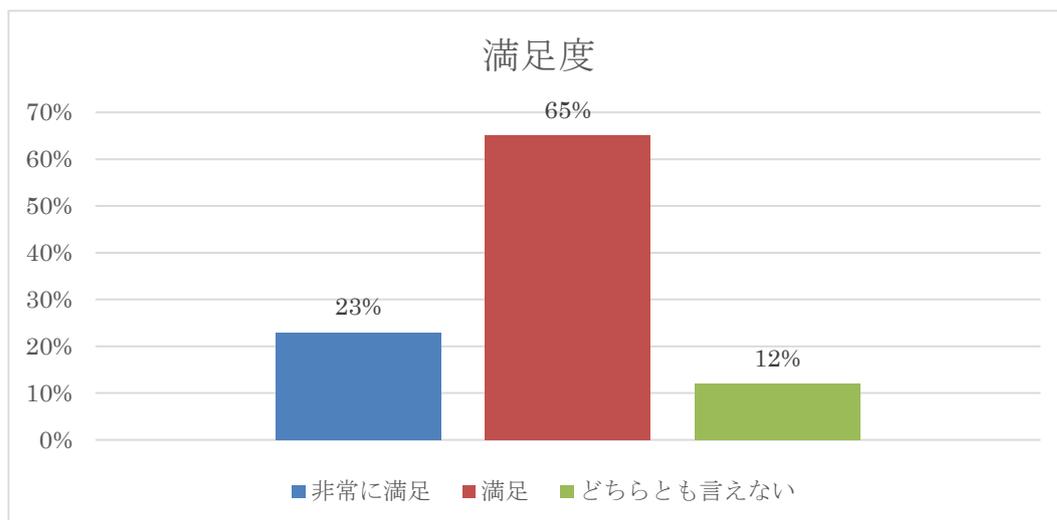
ESSJ の技術及び政策的なプレゼンテーション及びネットワーキングセッションはエネルギー貯蔵が進行形でどのように機能するのかという事を官民の双方のパートナーシップにおいて輝かせてくれます。

カリフォルニア公益事業委員会 委員長  
C. J. ピータマン

11 月 12 日の財務金融対話セッションでは、新しい戦略、プロジェクトのビジネスモデルと資金調達チャンネルがトピックであった。

観客の大半は非常に満足、または満足であった。12%はどちらとも言えないと述べた。

## グラフ：満足度



出典：参加者アンケート

10社の出展者とスポンサーは、日本からデュポン(株)、日本電気(株)、日本ガイシ(株)、住友電気工業(株)、ドイツから、Sunfire、フランスからは Yole Développement、がそれぞれそれぞれ貯蔵ソリューション・製品・サービスを紹介した。NECの花房博士は当イベントを熱心に以下のように表現：

日本は欧米に比べて電力自由化に出遅れているとともに島国であるため、市場環境が異なっています。すなわち、蓄電システムを活用するビジネスに対して国内電力関係者の意識は欧米に比べてまだまだ低く、制度設計もこれからです。ところが、展示ブースを持つことで新規事業に関心を持つ人達が増えてきたことを実感しました。折しも COP21 の開催が時期的に近かったこともあり、CO2 削減の意識の高まりとともに、これから蓄電システムの事業化を検討していきたいという意向を持った方々に多業界から訪れて頂きました。展示ブースを媒介に種々のネットワーキングが構築でき、日本市場独自のマーケティングに活用できたことが非常に有効であったと思います。

日本電気株式会社 スマートエネルギービジネスユニット  
主席主幹 花房 寛 博士

エネルギー・ストレージ・サミット 2015 および VDE ファイナンシャル・ダイアログ・ジャパンは、日本側から、経済産業省、外務省、環境省、大阪府、国立研究開発法人産業技術総合研究所 (AIST)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) ヨーロッパ側からは駐日欧州連合代表部、ドイツ連邦共和国 東京、日欧産業協力センター、在日ドイツ商工会議所の後援で開催された。

当イベントは 17 の業界団体や研究機関と 10 のメディアベンチャーによってサポートされた。

次回のエネルギー・ストレージ・サミット・ジャパン (ESSJ) は、2016年11月8日、(火曜日) 9日(水曜日)に予定されておりテーマはエネルギー・ソリューション、ガスと水素、スマートハウス・アプリケーションやその規制、モビリティの電動化と多岐に渡る。2016年11月8日、9日に続いて10日にバッテリー、水素設備並びにスマートシティプロジェクトの現場訪問を予定している。

お問い合わせ先

Dr. A.メルケ / 永田 健

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町4-1

ニューオータニ ガーデンコート7F

T: (03)5210-9951 M: [essj@messe-dus.co.jp](mailto:essj@messe-dus.co.jp) W: <http://essj.messe-dus.co.jp>

プレス用写真: <https://essj.messe-dus.co.jp/jp/press-photos/>

プログラム:

[https://essj.messe-dus.co.jp/fileadmin/essj/uploads/programs/ESSJ2015\\_program.pdf](https://essj.messe-dus.co.jp/fileadmin/essj/uploads/programs/ESSJ2015_program.pdf)

Energy Storage Summit Japan (ESSJ) とは

エネルギー・ストレージ・サミット・ジャパン (ESSJ) は、メッセ・デュッセルドルフが手がける『ワールド・オブ・エネルギー・ストレージ (WOES)』のひとつとして2014年に初開催。発蓄電が世界中で産業、化学、政治を動かす重要な要因であるという認識に基づく国際会議・メッセシリーズ WES は、現在3大陸・5か所で行われ、世界でも最も重要なエネルギー市場である欧州・北米・中国・インド・日本をカバーしている。

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンとは

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン (MDJ) は、ドイツのメッセ (業界専門見本市) 主催会社であるメッセ・デュッセルドルフの日本における子会社として1994年に設立。メッセ・デュッセルドルフグループが世界中で主催するメッセへ出展・来場の日本企業をサポート、ならびに日本国内で業界セミナー・国際会議・メッセを主催する。